学校番号	３２２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	標準数学Ⅰ・A 演習	単位数	２単位	年次	２年次 （普通科文系選択）
使用教科書	なし						
副教材等	新課程　教科書傍用　基本と演習テーマ数学Ⅰ＋A						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学Ⅰ・Aの範囲で学んだ数式やグラフ、場合の数や図形などの基本的な問題を扱います。演習形式で問題演習を行うことにより、１年生で学んだ数学Ⅰ・Aの基礎力の向上を図り、理解を深めましょう。
・わからない内容はそのままにせず、授業中もしくはその日のうちに質問し、理解する習慣を身に付けていきましょう。
・授業中は受け身の学習ではなく、自ら考えるとともに、協働して考えることを積極的に行ってください。
・家庭学習における課題は、途中式を理解するとともに、学習の定着を目的として毎日少しずつ取り組みましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

数と式，図形と計量，二次関数及び場合の数、確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、図形と計量、二次関数及び場合の数、確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈し、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質や計量について論理的に考察する力，関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，解決の過程や結果を考察し判断する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとするとともに、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	数学Ⅰ 第１章　数と式 １ 多項式の計算 ２ 展開公式 ３・４ 因数分解 ５ 実数 ６ 根号を含む式計算 ７ 不等式の性質 ８ １次不等式	a: ２次の乗法公式や因数分解の公式を用いて計算できる。数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の計算をすることができる。 b: 式を目的に応じて変形したりすることができる。１次方程式を解く方法や不等式の性質を基に１次不等式を解く方法を考察することができる。 c: 事象を式の計算の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表
	集合と命題	１０ 集合 １１ 命題と条件 １２ 必要条件と十分条件 １３ 条件の否定 １４ 命題とその否定・逆・対偶・裏	a: 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 b: 集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。 c: 事象を集合の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表
2学期	2次関数	第３章 １６ ２次関数のグラフ １７ ２次関数の最大・最小 １８ ２次関数の決定 １９ ２次方程式 ２０ x軸の位置関係 ２１ ２次不等式	a: グラフの特徴や２次方程式の解と２次関数のグラフを用いて２次不等式の解を求めることができる。 b: ２次関数のグラフと x 軸との関係から、２次方程式・不等式の解について考察することができる。 c: ２次関数とそのグラフを用いることの有用性を認識し、問題解決にそれらを活用しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表

	図形と計量	２２ 三角比 ２３ 三角比の相互関係 ２４ 三角比の拡張 ２５ 正弦定理・余弦定理 ２６ 三角形の面積 ２７ 空間図形への応用	a:正弦定理や余弦定理などを用いて、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。三角形の面積を三角比を利用して求めることができる。 b: 図形の構成要素間の関係や既習の図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c:事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを自認し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。正弦定理や余弦定理の有用性を認識し、問題解決にそれらを活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表
	場合の数	数学Ａ 第１章 １ 集合の要素の個数 ２ 場合の数 ３ 順列 ４ 円順列・重複順列 ５ 組合せ	a:集合の要素の個数に関する基礎的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 具体的な事象を基に順列や組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b:事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 c:事象を場合の数の考えを利用して考察するよさを自認し、問題解決にそれらを用いようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表

3学期	確率	6 事象と確率 7 確率の基本性質 8 独立試行と確率 9 条件付き確率 １０ 期待値	a:確率の基礎的法則を利用して事象の確率や期待値を求めることができる。独立な試行の確率を求めることができる。簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 b:確率の性質などを利用して事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に用いたりすることができる。 c:事象を確率の考えを用いて考察するよさを自認し、問題解決にそれらを用いようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表
	図形の性質	第２章 １２ 三角形の辺の比 １３ 三角形の外心・内心・重心 １４ チェバの定理・メネラウスの定理 １５ 三角形の辺と角 １６ 円周角 １７ 円に内接する四角形 １８ 円と直掩 １９ 方べきの定理	a: 三角形に関する基礎的な性質について理解している。 円に関する基礎的な性質について理解している。 b: 図形の構成要素間の関係や既習の図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c: 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを自認し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度